

プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち10~3月号で参加した生徒の報告書を紹介します。

参加報告

プラチナ未来人財育成塾に参加して

泗水中学校2年 もり もと さや か 森本紗佳さん



私は、プラチナ未来人財育成塾@二子玉川に参加して、リーダーに求められるものや、これからの日本や世界はどうなっていくのかなど、自分が知らなかったことをたくさん知ることができました。特に、菊池康紀先生と山戸昌子先生の講義が一番印象に残りました。

菊池先生の講義は、今の日本や世界、エネルギーや環境の現状を知ることから始まりました。どんなエネルギーの課題があるのかを知りました。そして、これからのことを考えるために、フォアキャストینگ・バックキャストینگについて学びました。何十年も先のビジョンを持ち、このビジョンを達成するには何をすべきなのか、この現状を維持したままだとどうなるのか、二つの方向から考えることが大切だと学びました。また、今自分はこの場所にいるのだろうかという、現在地を知っておくことが必要だと知りました。そこから、短期的対策、中期的ビジョン、長期的ビジョン、超長期的ビジョンというように、一つずつ目標を立てることで、自分たちが目指すプラ

チナ社会を達成することができるのだと思いました。

次に、山戸先生の講義は環境問題のお話でした。世界に広がっている企業だから、その分環境に与える影響も大きく、一人一人が向き合っている環境問題について考えることが大切だと話されていました。また、燃料電池製の機械を試験的に使用したり「トヨタ環境チャレンジ」など環境問題を解決するために、様々な取組を行っていました。私は山戸先生の講義を聞いて「自分も何かの形で関われるようになりたい」「自分ができることは何だろう」と思いました。私は、こまめに電気を消したり、水のムダ使いをしない、必要の無いものは買わない、リサイクルできるものを買うなどができると思います。だから、身の周りのことができることから一つずつ続けていこうと思えました。

グループワークでは多くの人の振り返りを聞くことができて「こういう考えもあるんだ」と思うことが多かったです。また、振り返りの中で疑問に思うことや、もっとこうした方がよいのではという事をグループ

間で話し合いました。話し合っている中で自分の意見が変わったりもしました。私なりに、積極的に話し合いに参加することができました。

私は、このプラチナの研修を通じて、自分が知らなかったことを知ることができたし、様々な人と話し、考えを深められたと思います。今度、自分が学んだことを学校や私の周りの人に伝えていくことが私の使命だと思えます。環境問題や、これからの日本や世界を知ってもらおうとで、少しでも早く「持続可能な社会」に近づくことができると思いません。そして、私は周りの人に伝えていくとともに、自分から行動しているかと思えました。今回のプラチナ未来人財育成塾@二子玉川に参加することができて、本当によかったです。

